

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大阪松原物流センター新築工	階数	地上4F
建設地	松原市大堀1丁目52-1,52-35	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	160 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年7月 予定	評価の実施日	2017年3月14日
敷地面積	33,401 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社ジタ大阪支店 難波 一郎
建築面積	15,117 m <sup>2</sup>	確認日	2017年3月14日
延床面積	52,913 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社ジタ大阪支店 源 邦夫



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	81%
③上記+②以外の	81%
④上記+	81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3  
Q2 サービス性能: 4  
Q3 室外環境(敷地内): 2  
LR1 エネルギー: 3  
LR2 資源・マテリアル: 3  
LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 0.0	Q2のスコア = 3.6	Q3のスコア = 2.1
音環境: N.A., 温熱環境: N.A., 光・視環境: N.A., 空気質環境: N.A.	機能性: N.A., 耐用性: 3.0, 対応性: 4.2	生物環境: 1.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 3.3	LR2のスコア = 3.3	LR3のスコア = 3.2
建物外皮の: 4.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 4.0, 効率的: 2.0	水資源: 3.4, 非再生材料の: 3.4, 汚染物質: 3.0	地球温暖化: 3.7, 地域環境: 3.0, 周辺環境: 3.0

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>高効率な設備機器の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。また、外構を積極的にを行い、生物資源の創出や温熱環境負荷の向上に配慮している。</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b> ・工場用途のため、評価対象外。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・外構への積極的な緑化により、生物環境の創出や温熱環境の向上に配慮している。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b> ・断熱性の高い建材を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。 ・LED照明を採用し、エネルギー消費量を抑えている。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> ・節水型機器の採用により、水資源保護に配慮している。 ・リサイクル材の採用や再利用可能なユニット部材の採用により、非再生性資源の使用量削減に配慮する。</p>
	<p><b>LR3 敷地外環境</b> ・駐車場・駐輪場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮している。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-変更-0035

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>		建物名称	(仮称)大阪松原物流センター新築工事					
		建設地	松原市大堀1丁目52-1,52-35					
		用途/区分	工場					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.7	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体		3	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				2.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.4		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								